『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』『コースト・オブ・ユートピア』など、知的で思索に満ちた戯曲群が世界中で上演され続けている英国の劇作家トム・ストッパード。2020年にロンドンで初演され、同年のオリヴィエ賞作品賞を受賞したストッパードの『レオポルトシュタット』が、小川絵梨子演劇芸術監督の演出で日本初演となる。描かれるのは1899年末から50年余をオーストリアで生き抜いたユダヤ人の家族・メルツ家とヤコボヴィッツ家の日常と、一族を常に脅かす差別と迫害の構図。ヘルマン役を演じる浜中文一に、作品に臨む想いを聞いた。

演劇でしか表現できないライブのエネルギーを届けられる作品に

――浜中さんは、２０１８年の『マクガワン・トリロジー』（シェーマス・スキャンロン作）以来、二度目の小川芸術監督演出作品への出演です。

浜中　『マクガワン～』で小川さんに出会えたことは、俳優である自分にとって非常に大きな出来事でした。僕の中に漠然とあった戯曲や役への取り組みを、稽古する過程で自信の持てるものにし、「コレでいい、今感じているように演じていいんだ」と思い定められるよう小川さんは導いてくださった。いろいろな演出家の方がいらっしゃると思いますが、小川さんほど俳優に対してフラットに接し、精神的な支えになってくださる方は初めてで、心から尊敬しています。以来、また是非ご一緒させていただきたいと思い続けていたので、『レオポルトシュタット』でそれが叶い、非常に嬉しいです。

――作家であるストッパードの自伝的要素を含む、スケールの大きな家族の物語である今作。浜中さんはどのように読まれましたか？

浜中　まだ、しっかりと読めていないのですが、四世代に亘る二つの家族の相関図と第一場を読んだだけで、正直に言えば「難しい……」と思ってしまって（苦笑）。ユダヤ人独特の習慣や儀式のこと、当たり前の生活の裏で常に一族の人々がさらされている差別、革命やナチスによるユダヤ人虐殺などの歴史的事実など、自分の知らない要素がとても多いんです。また演じるヘルマン・メルツも、葛藤を抱える内面が複雑なキャラクターなんですよね。稽古をしながら史実や時代背景など、学ばなければいけないことがたくさんありそうです。

――今作のような史実に基づくものからファンタジックなものまで、浜中さんは多彩な舞台作品にご出演ですが、どのように役へと取り組み、何を手掛かりにされることが多いのでしょうか。

浜中　基本的には戯曲から受け取ったものを体現するため、必要なことを探していく感じです。背景など資料を調べることもあれば、それらを飛ばして感覚的に飛び込んでいくような時もあり、作品や役ごとに取り組みは変わります。今作への手がかりも探すのはこれからで、僕にとって難しい戯曲ではあるけれど、演出が小川さんなので不安はありません。

――初登場となる新国立劇場について、浜中さんの中にはどんなイメージがありますか？

浜中　「僕なんかがおいそれと立てない遠い場所」だと思っていました、なにせ国立ですし（笑）。でも小川さんが芸術監督になられた時から「いつかは」と、出演を望んでいた劇場ですし、ジャニーズ事務所の先輩方が何人も素晴らしい作品に出演してきた場所でもある。長く通われているような劇場ファンのお客様を裏切らない芝居ができるよう、精一杯頑張りたいと思います。

――確かに、「新国立劇場の作品だから」と信頼して観に来てくださるお客様は多いように思います。

浜中　以前、新派の『犬神家の一族』（2018年 齋藤雅文 脚色・演出）に出演させていただいた時も、これまでお会いしたことのない落ち着いた年代のお客様がとても多く、その方たちに受け入れていただける演技をしなければと思ったんです。中劇場の舞台に立った時、客席からどんな波長が感じられるか、その場で自分にどんな演技ができるか楽しみです。

　また、30人近い大きな座組の作品も久しぶりで、19、20年に上演した『スケリグ』（ウォーリー木下 演出）で共演した瀬戸カトリーヌさん以外、皆さんはじめましての方ばかり。小川さんの演出のもと、家族ならではの濃密な関係性をきちんと作り、演劇でしか表現できないライブのエネルギーを届けられる作品にしたいと思っています。

インタビュアー：尾上そら

（新国立劇場・情報誌　ジ・アトレ　9月号掲載）

**＜演劇『レオポルトシュタット』公演概要＞**

会場：新国立劇場　中劇場

公演日程：2022年10月14日（金）～31日（月）

作：トム・ストッパード　翻訳：広田敦郎　演出：小川絵梨子

芸術監督：小川絵梨子

主催：文化庁芸術祭執行委員会／新国立劇場

後援：ブリティッシュ・カウンシル

キャスト：

浜中文一、音月 桂、村川絵梨、土屋佑壱、

岡本 玲、浅野令子、木村 了、那須佐代子

泉関奈津子、内田健介、太田緑ロランス、椎名一浩、

椙山さと美、鈴木勝大、鈴木将一朗、瀬戸カトリーヌ、

田中 亨、野口卓磨、松本 亮、万里紗、八頭司悠友

伊奈聖嵐、久住星空、高橋菜々音、塚越一花、

寺戸花、根本葵空、前田武蔵、三田一颯

公演詳細：https://www.nntt.jac.go.jp/play/leopoldstadt/

一般発売日：2022年9月4日（日）10:00～

料金：S席8,800円　A席6,600円　B席3,300円

チケットに関するお問い合わせ：新国立劇場ボックスオフィス：03-5352-9999(10:00～18:00)